



東日本大震災から11年。  
亡き息子とともに詠み続けた310句！

第二句集

句集 稲の香

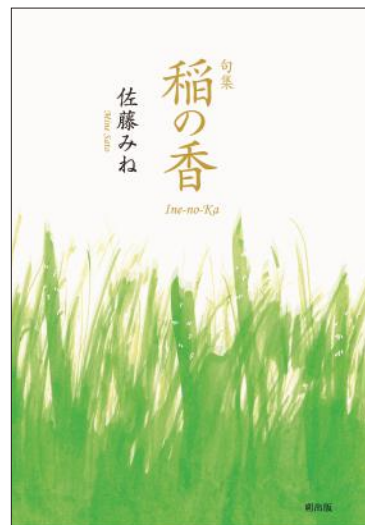
いねのか

佐藤みね著

最愛の息子を失った東日本大震災から11年。  
深い悲しみの中、農に生きる著者にとって  
稲穂に揺れる白い花は生きる希望そのものだった。  
この「稲の香」は彼の世にも届くだろうか。  
鎮魂の祈りが言葉となり、俳句となる。

日本現代詩歌文学館館長  
高野ムツオ氏 推薦！

歌声の返って来そう冬青空  
本集は、亡き子とともに、  
また家族や友とともに農に生きる  
作者の五感による、森羅万象との  
豊かな対話の記録である。



定価：2420円(本体2200円+税10%)  
四六判 上製 184頁

〈作品抄〉

新緑の闇より届く汽笛かな  
詩才なき五体ながらも更衣  
寒星の一つに住みて明日を待つ  
夕霞木霊の返事遅くなる  
流星や宙のどこかに皺ができ  
一粒の花種の上青い空  
稲の香の溢れる道を夜勤明け  
凍豆腐またたく星と息あわす  
砂山のなんども崩れ三月へ  
夕焚火みな少年の眼で笑う

著者紹介◆佐藤みね(さとう みね)  
昭和16年、宮城県生まれ。平成13年、古川あしかび会入会。  
平成18年、「小熊座」入会。平成21年「小熊座」同人。  
平成25年、第一句集『薫風』上梓。現在「小熊座」同人、  
現代俳句協会会員、宮城県俳句協会会員、宮城県芸術協会会員。

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRCより全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者 JRC 佐藤)

ご注文 申込書	貴店名・帳合	注文数	発行 朔出版 電話・FAX 03-5926-4386
			句集 稲の香 佐藤みね 四六判 / 上製 / 184頁 / 定価: 2420円(本体2200円+税10%)
		冊	ISBN978-4-908978-74-6 C0092